

作成年月日	平成 19 年 5 月 14 日
作成部局 課室名	県土整備部県土企画局 交通政策課

(同時配布：但馬県民局、鳥取県、J R 西日本)

余部橋梁架替事業 起工記念式典の開催について

余部橋梁架替事業につきましては、その事業主体である JR 西日本(西日本旅客鉄道株式会社)において、3月29日から仮設駐車場等の準備工に着手したところです。

この度、本格的な工事の実施に先立ち、5月27日に、関係自治体(兵庫県、鳥取県、沿線市町等)主催による起工記念式典を下記のとおり開催する運びとなりました。

記

- 1 日 時 平成 19 年 5 月 27 日(日)11:00 ~ 12:00
(別途、10:00 ~ JR 西日本、施工会社主催による安全祈願祭あり)
別紙参照
- 2 場 所 兵庫県香美町香住区余部 余部鉄橋下(長谷川河川敷)
- 3 主催者 兵庫県、豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町、
鳥取県、鳥取県市長会、鳥取県町村会、JR 西日本
- 4 出席者 関係国会議員及び県議会議員、沿線市町議長、
余部鉄橋事故遺族連絡会、地元連合自治会長、
兵庫県知事、鳥取県副知事、沿線市町長、JR 西日本 等

< 参考 >

1 余部橋梁架替事業の概要

- 1 事業期間 平成 17～22 年度
平成 17 年度から実施設計等に着手。
平成 19 年 3 月 本工事に着手（準備工）

- 2 全体事業費 30 億円

3 費用負担 単位：百万円

J R 西日本 600(2/10)	自治体補助 2,400(8/10) 兵庫：鳥取 = 8：2		
	兵庫県側 1,920(6.4/10) 県：市町 = 2：1		鳥取県側 480(1.6/10)
	兵庫県 1,280(12.8/30)	県内市町 640(6.4/30)	

- 4 橋梁の概要 長さ：L=310m 高さ：H=41.5m 幅：W=7.5m
構造形式：エクストラードード橋

- 5 事業主体 J R 西日本

2 余部鉄橋利活用について

余部鉄橋（現橋）は、但馬地域のみならず日本を代表する近代土木遺産であり、重要な観光資源でもあることから、学識経験者、地元及び行政で構成する「余部鉄橋利活用検討会」において、現橋の望ましい残し方や利活用方策等について、検討を重ねてきた。平成 19 年 3 月 13 日に出席された検討会の提言を踏まえ、今年度、兵庫県では、現橋梁の保存や利活用計画の具体策を作成することとしている。

余部橋梁架替事業 安全祈願祭・起工記念式典
次 第(案)

受付(9:00～)

安全祈願祭(10:00～11:00)……………〔主催〕JR西日本、施工会社

(1)開 式

(2)神 事

地鎮の儀

刈初の儀(鎌)、穿初の儀(鋤)、鍬入の儀(鍬)

玉串奉奠

(3)閉 式

献花(慰霊碑前：会場移動の途中で)……………参列者代表

兵庫県知事等

起工記念式典(11:00～12:00)……………〔主催〕関係自治体 1

(1)開 会

(2)列車転落事故犠牲者に対する黙祷

(3)主催者代表あいさつ

(4)地元代表あいさつ

(5)事業概要説明

(6)来賓あいさつ

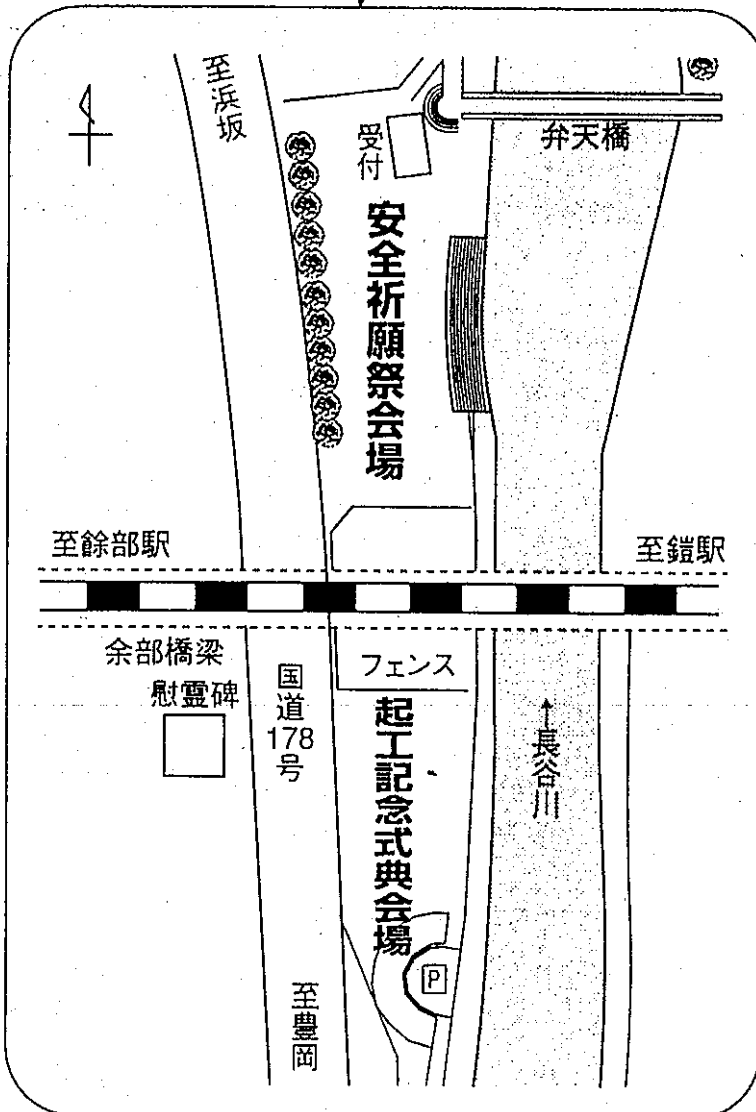
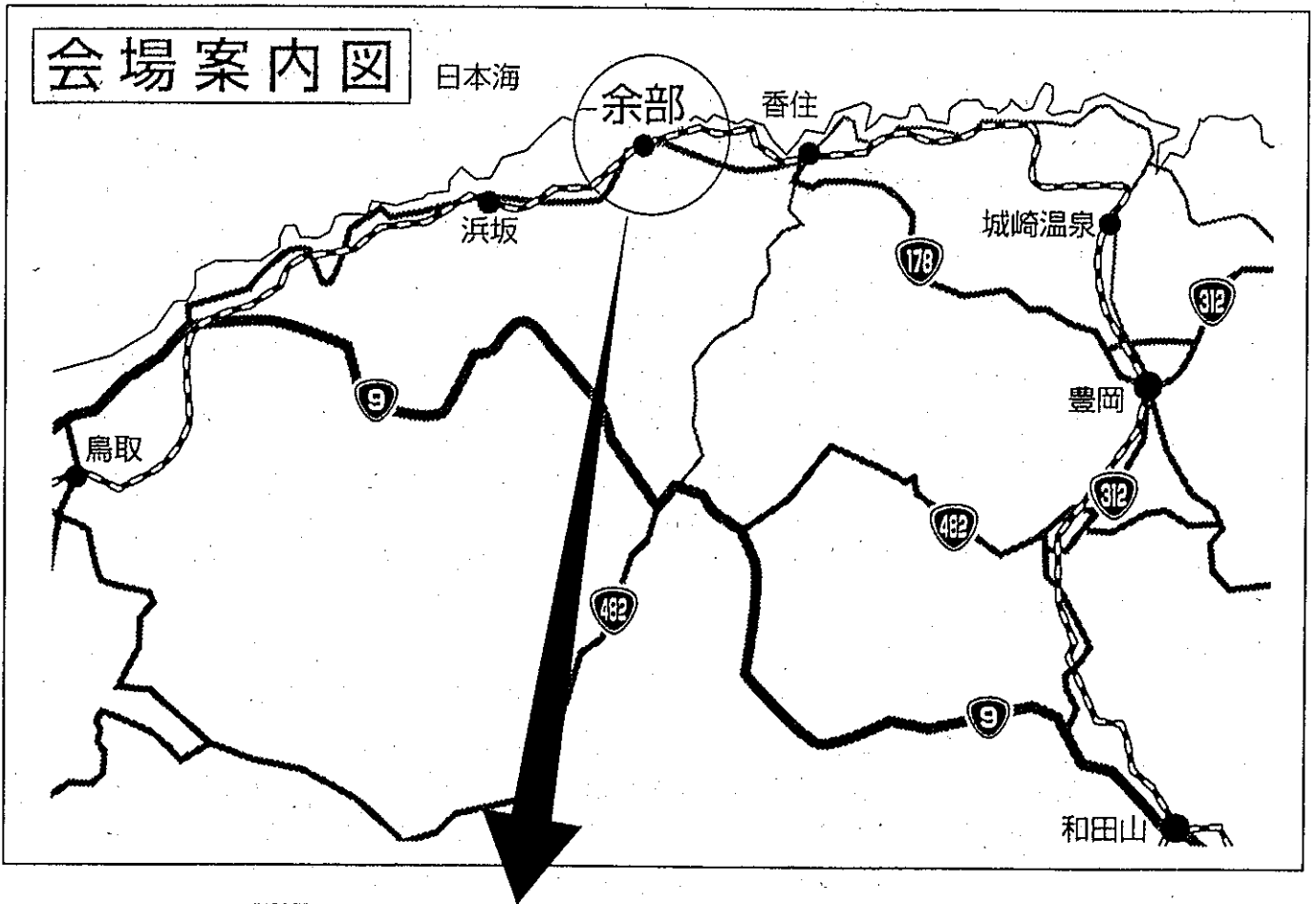
(7)来賓紹介

(8)祝電披露

(9)閉 会

1 兵庫県、豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町、
鳥取県、鳥取県市長会、鳥取県町村会、JR西日本

会場案内図



- 会場／余部橋梁下
- 長谷川河川敷 国道178号線沿いです
- 駐車場については当日御案内いたします